

## 2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月9日

上場会社名 株式会社ロブテックス 上場取引所 東  
コード番号 5969 URL <https://www.lobtex.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理部長 (氏名) 森下 幸治 TEL 072-980-1110  
定時株主総会開催予定日 2025年6月24日 配当支払開始予定日 2025年6月25日  
有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	5,708	△3.7	205	△41.9	222	△48.7	77	△72.4
2024年3月期	5,925	△0.4	354	△27.0	433	△12.1	279	△11.0

(注) 包括利益 2025年3月期 62百万円 (△85.0%) 2024年3月期 415百万円 (17.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	41.38	-	1.6	2.5	3.6
2024年3月期	149.87	-	6.0	4.8	6.0

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 -百万円 2024年3月期 -百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	8,611	4,841	56.2	2,592.90
2024年3月期	9,284	5,096	52.2	2,593.80

(参考) 自己資本 2025年3月期 4,841百万円 2024年3月期 4,843百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	289	△138	△654	1,961
2024年3月期	143	△362	80	2,465

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	-	0.00	-	35.00	35.00	65	23.4	1.4
2025年3月期	-	0.00	-	30.00	30.00	56	72.5	1.2
2026年3月期(予想)	-	0.00	-	30.00	30.00		43.1	

(注) 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当30円、記念配当5円

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,810	1.8	220	6.9	220	△1.2	130	68.2	69.62

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	2,000,000株	2024年3月期	2,000,000株
2025年3月期	132,600株	2024年3月期	132,592株
2025年3月期	1,867,402株	2024年3月期	1,867,408株

(参考) 個別業績の概要

2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	4,164	△0.6	13	△75.3	168	△36.0	131	△34.6
2024年3月期	4,189	△2.2	54	△70.4	263	△29.3	201	△24.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	70.43	-
2024年3月期	107.66	-

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2025年3月期	7,458	4,167	4,167	4,113	55.9	2,231.86	2,231.86	
2024年3月期	7,796	4,113	4,113	4,113	52.8	2,202.66	2,202.66	

(参考) 自己資本 2025年3月期 4,167百万円 2024年3月期 4,113百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(1株当たり情報の注記) .....	12
(重要な後発事象の注記) .....	12
4. その他 .....	12
(1) 役員の変動 .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の我が国経済は、原油や資材価格高騰・為替の変動による物価の上昇、ウクライナ情勢の長期化・中東情勢の緊迫化等の影響により、その先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループでは、経営ビジョン「モノづくりのプロに答え、モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の発信と浸透を更に進め、経営課題である「業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る」を追求し、経営目標達成に向け努力してまいりました。

そして、その経営ビジョンを押し進めるにあたり、経営課題の解決に向けた機能的な組織への変更を2024年7月に行いました。その内容は以下のとおりです。

新規開発事業部、ハンドツール事業部、ファスニング事業部の3事業部を新設。事業部制を導入し、事業収支改善を徹底することで「業務の整流化」と「利益体質の強化」を図ります。

新規開発事業部では、新規商品の開発、新規調達先の開拓を加速、充実を図ります。

ハンドツール事業部では、開発から生産までの商品化プロセスを加速させ、安定的且つ効率的供給体制を構築し、特に生産拠点であるグループ会社、鳥取ロブスターツール株式会社との連携を図ることにより収益力の強化を行います。

ファスニング事業部は、需要が増加している接合作業の自動化装置など、ファスニング分野のさらなる伸長を図るため、技術開発、営業、アフターサービス部門が一体となり、お客様の要求に“きめ細やか”に対応し、市場ニーズを的確に捉えるべく製販一体となった組織を目指します。また、グループ会社でありファスナー専門商社の株式会社ロブテックスファスニングシステムと連携の下、営業力の強化を図り、同社の管理、品質、技術部門を当社と連携することで販路拡大に特化・集中できる体制を築きます。

営業部門については、事業部制導入に伴い、接合作業の自動化装置とファスナーツール・接合ファスナーに対する取り組みをより強固とするために第一営業部、第二営業部を国内営業部とファスニング事業部の営業部門に再編成しました。国内営業部は東日本(北海道・東北・関東・中部)と西日本(関西・中四国・九州)の営業チームとして再編し、対応の迅速化を図ります。

なお、当社グループでは、経営課題であります“利益体質の強化”を図るべく、現状課題については前期実施していたプロジェクトから各部門に引継ぎ、解決策を展開してまいりました。そして、未来を見据えた目指すべき将来像についても策定を進めており、新商品・新サービス情報を市場から収集し、それを商品実現という形でお客様にご提供するだけでなく、市場の大きな流れ(例えば技術動向等)をあらゆる切り口から検証し、市場が要求する新たな価値を創造し、商品化、サービス化することで「モノづくりのプロ」にお応えすべく推進してまいりました。

しかしながら、売上高は前年同期比3.7%減の5,708百万円(前年同期5,925百万円)となり、営業利益では同41.9%減の205百万円(同354百万円)、経常利益では同48.7%減の222百万円(同433百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益では主要子会社の繰延税金資産の一部取り崩しによる法人税等調整額の発生もあり、同72.4%減の77百万円(同279百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 金属製品事業

ハンドツール事業では、海外売上において、特に韓国における市況の低迷が影響し、レンチ及び電設工具、プライヤ類の販売が低調に推移しましたが、国内が昨年を上回り売上高を牽引しました。なお、前期に発生した一部商品の欠品による受注残については、対策を講じ、現在では解消しております。

一方、ファスニング事業においては、国内・海外ともに省人化を目的としたリベッティングの自動機やシステム物件の引き合いが、増加傾向にあり、着実に受注に結びついております。しかしながら、前年の機械組み立て関連の大型物件分をカバーするだけの販売数には届きませんでした。

また、連結子会社である株式会社ロブテックスファスニングシステムの100%子会社化に伴い、一部商品の販売をグループ会社外へ移管したこともあり、売上高が減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比3.6%減の5,461百万円(前年同期5,663百万円)となり、セグメント利益については、減収影響に加え、新規アイテムの生産・発売と在庫評価に関する費用発生に伴う売上原価率の上昇もあって、同61.3%減の87百万円(同224百万円)となりました。

#### ② レジャー事業

ゴルフ練習場における売上高は、サービス向上や集客施策を実施してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症行動規制下での特需が前期2023年5月の5類移行後、徐々に落ち着いてきており、また、夏季の猛暑や冬季の厳寒などの気候の影響もあって、来場者数並びに一人当たりの売上高が減少し、前年同期比5.7%減の247

百万円（前年同期261百万円）となりました。セグメント利益については、経費節減に努めましたものの、減収影響により、同8.2%減の118百万円（同129百万円）となりました。

## （2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は8,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ672百万円減少しました。

### （資産）

流動資産は前連結会計年度末比528百万円減の5,757百万円となりました。これは主に棚卸資産が増加する一方で、現金及び預金や受取手形が減少したことによるものです。

固定資産は同144百万円減の2,853百万円となりました。これは設備投資の実施による増加がある一方で、減価償却の計上による減少や、主要子会社における繰延税金資産の一部取り崩しがあったことによるものです。

### （負債）

流動負債は前連結会計年度末比266百万円減の2,251百万円となりました。これは主に短期借入金が減少したことによるものです。

固定負債は同152百万円減の1,517百万円となりました。これは主に長期借入金が減少したことによるものです。

### （純資産）

純資産は前連結会計年度末比254百万円減の4,841百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上による増加がある一方で、連結子会社である株式会社ロブテックスファスニングシステムを100%子会社化したことに伴う非支配株主持分の減少や配当支出があったことによるものです。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ503百万円減少（前年同期138百万円減少）し、1,961百万円となりました。

### ＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

棚卸資産の増加や法人税等の支払いがありましたが、税金等調整前当期純利益や減価償却費の計上などにより、資金が289百万円増加（前年同期143百万円増加）しました。

### ＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

有形固定資産の取得を主因に、資金が138百万円減少（前年同期362百万円減少）しました。

### ＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

借入金の返済や連結子会社である株式会社ロブテックスファスニングシステムを100%子会社化したことに伴う連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得支出などにより、資金が654百万円減少（前年同期80百万円増加）しました。

## （4）今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、原油や資材価格高騰・為替の変動による物価の上昇、ウクライナ情勢の長期化・中東情勢の緊迫化に加え、米国による関税政策によって、より一層、先行きが不透明な状況となっております。

このような見通しの中、当社グループでは、経営ビジョン「モノづくりのプロに答え、モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の浸透と発信を更に進め、経営課題である「業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る」を追求し、経営目標達成に向け努力してまいり所存であります。

また、前年より引き合いが増加傾向にある、省人化を目的とした自動機やシステム物件といったファスニング関連商品や新規販路開拓を進めているハンドツール新商品においては、今後の売上に寄与するものと考え、より一層の強化を図ってまいります。

次期の見通しといたしましては、連結売上高で5,810百万円、連結営業利益で220百万円、連結経常利益で220百万円、親会社株主に帰属する当期純利益で130百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準により作成する財務諸表が当社グループの経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況を示す上で適切であると判断しております。

また、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,791,637	2,287,897
受取手形	159,387	63,826
売掛金	919,388	870,871
電子記録債権	280,558	227,099
商品及び製品	1,260,246	1,443,285
仕掛品	426,527	435,152
原材料及び貯蔵品	355,403	330,447
その他	98,304	98,965
貸倒引当金	△5,636	—
流動資産合計	6,285,816	5,757,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	762,230	721,747
機械装置及び運搬具 (純額)	268,211	289,800
工具、器具及び備品 (純額)	107,235	99,565
土地	668,226	668,226
リース資産 (純額)	205,598	163,277
建設仮勘定	28,757	5,925
有形固定資産合計	2,040,261	1,948,542
無形固定資産		
リース資産	15,502	18,724
その他	14,466	11,536
無形固定資産合計	29,969	30,261
投資その他の資産		
投資有価証券	667,873	657,409
退職給付に係る資産	147,803	150,151
繰延税金資産	87,128	46,390
その他	25,227	21,131
投資その他の資産合計	928,033	875,081
固定資産合計	2,998,264	2,853,885
資産合計	9,284,080	8,611,431

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	265,870	232,055
短期借入金	1,675,500	1,515,870
リース債務	51,098	38,078
未払法人税等	73,440	57,968
契約負債	48,954	52,084
その他	403,149	355,658
流動負債合計	2,518,013	2,251,715
固定負債		
長期借入金	1,469,466	1,333,386
リース債務	104,447	90,551
繰延税金負債	10,476	5,342
退職給付に係る負債	85,103	87,968
その他	480	480
固定負債合計	1,669,972	1,517,728
負債合計	4,187,986	3,769,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	493,710
利益剰余金	3,267,581	3,279,500
自己株式	△164,523	△164,534
株主資本合計	4,554,103	4,568,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	289,575	273,310
その他の包括利益累計額合計	289,575	273,310
非支配株主持分	252,415	—
純資産合計	5,096,094	4,841,987
負債純資産合計	9,284,080	8,611,431

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	5,925,353	5,708,563
売上原価	4,012,421	4,002,310
売上総利益	1,912,931	1,706,252
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	549,751	543,850
退職給付費用	2,325	11,352
減価償却費	71,101	75,126
その他	935,585	870,100
販売費及び一般管理費合計	1,558,765	1,500,430
営業利益	354,166	205,821
営業外収益		
受取利息	23	1,031
受取配当金	18,247	22,020
受取家賃	3,859	4,864
受取精算金	—	16,286
助成金収入	71,907	—
為替差益	4,042	—
その他	9,602	4,265
営業外収益合計	107,683	48,468
営業外費用		
支払利息	24,903	30,468
その他	3,113	1,128
営業外費用合計	28,017	31,597
経常利益	433,832	222,692
特別利益		
固定資産売却益	1,593	—
投資有価証券売却益	376	—
特別利益合計	1,969	—
税金等調整前当期純利益	435,801	222,692
法人税、住民税及び事業税	139,998	104,201
法人税等調整額	△11,584	38,709
法人税等合計	128,414	142,911
当期純利益	307,387	79,781
非支配株主に帰属する当期純利益	27,525	2,502
親会社株主に帰属する当期純利益	279,862	77,278

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	307,387	79,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,838	△17,682
その他の包括利益合計	107,838	△17,682
包括利益	415,226	62,099
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	383,853	61,013
非支配株主に係る包括利益	31,373	1,085

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	960,000	491,045	3,043,741	△164,523	4,330,263	185,584	185,584	235,042	4,750,890
当期変動額									
剰余金の配当			△56,022		△56,022				△56,022
親会社株主に帰属 する当期純利益			279,862		279,862				279,862
自己株式の取得									—
非支配株主との取引 に係る親会社の 持分変動									
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						103,990	103,990	17,373	121,364
当期変動額合計	—	—	223,840	—	223,840	103,990	103,990	17,373	345,204
当期末残高	960,000	491,045	3,267,581	△164,523	4,554,103	289,575	289,575	252,415	5,096,094

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	960,000	491,045	3,267,581	△164,523	4,554,103	289,575	289,575	252,415	5,096,094
当期変動額									
剰余金の配当			△65,359		△65,359				△65,359
親会社株主に帰属 する当期純利益			77,278		77,278				77,278
自己株式の取得				△10	△10				△10
非支配株主との取引 に係る親会社の 持分変動		2,664			2,664				2,664
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						△16,264	△16,264	△252,415	△268,680
当期変動額合計	—	2,664	11,919	△10	14,573	△16,264	△16,264	△252,415	△254,107
当期末残高	960,000	493,710	3,279,500	△164,534	4,568,676	273,310	273,310	—	4,841,987

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	435,801	222,692
減価償却費	183,886	225,359
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	749	△5,636
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,358	2,865
受取利息及び受取配当金	△18,270	△23,051
支払利息	24,903	30,468
助成金収入	△71,907	—
為替差損益 (△は益)	1,196	17
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,593	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△376	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△70,495	197,535
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△266,803	△166,708
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,943	△33,815
その他の資産の増減額 (△は増加)	2,557	27,526
その他の負債の増減額 (△は減少)	18,119	△50,269
小計	224,182	426,986
利息及び配当金の受取額	18,270	23,005
利息の支払額	△24,774	△31,370
助成金の受取額	72,507	—
法人税等の支払額	△146,220	△129,327
営業活動によるキャッシュ・フロー	143,966	289,294
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△553,200	△553,200
定期預金の払戻による収入	553,200	553,200
有形固定資産の取得による支出	△336,939	△124,109
有形固定資産の売却による収入	2,000	—
無形固定資産の取得による支出	△4,543	△979
投資有価証券の取得による支出	△8,310	△10,321
投資有価証券の売却による収入	2,078	—
その他	△16,560	△3,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△362,275	△138,604
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△804,585	△895,710
リース債務の返済による支出	△44,421	△42,495
自己株式の取得による支出	—	△10
配当金の支払額	△56,022	△65,359
非支配株主への配当金の支払額	△14,000	△14,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△236,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	80,971	△654,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,196	△17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△138,534	△503,739
現金及び現金同等物の期首残高	2,603,570	2,465,036
現金及び現金同等物の期末残高	2,465,036	1,961,297

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「金属製品事業」は、作業工具・ファスニングツール・工業用ファスナー・電設工具・切削工具等の製造販売をしております。「レジャー事業」は、ゴルフ練習場の運営をしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	連結財務 諸表計上額
	金属製品 事業	レジャー 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,663,384	261,968	5,925,353	—	5,925,353	5,925,353
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,663,384	261,968	5,925,353	—	5,925,353	5,925,353
セグメント利益	224,809	129,357	354,166	—	354,166	354,166

(注) 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	連結財務 諸表計上額
	金属製品 事業	レジャー 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,461,488	247,074	5,708,563	—	5,708,563	5,708,563
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,461,488	247,074	5,708,563	—	5,708,563	5,708,563
セグメント利益	87,026	118,795	205,821	—	205,821	205,821

(注) 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

## （1株当たり情報の注記）

	前連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）	当連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）
1株当たり純資産額	2,593.80円	2,592.90円
1株当たり当期純利益	149.87円	41.38円

- （注） 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。  
 2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）	当連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	279,862	77,278
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	279,862	77,278
普通株式の期中平均株式数（千株）	1,867	1,867

## （重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。

## 4. その他

## （1）役員の変動

## ① 代表者の変動

該当事項はありません。

## ②その他の役員の変動（2025年6月24日付予定）

退任予定取締役 山口 正光（現 取締役 常務執行役員）